

# 学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・  
クアラルンプール日本人会日本人学校  
平成29年度 第2号(5月25日発行)  
URL : <http://www.jskl.edu.my>

絆

校長 宮谷 真一郎

その日がついにやってきました。幼稚部小学部中学部全員の子どもの活躍を、全ての教職員で支え、全てのJSKL保護者の皆さんに観ていただく「運動会」です。

数日前から雨らしい雨が降らなかったため、当日の朝の空模様をとて心配していました。午前七時前からしとしと降り出した雨を見たときには、二年前の中学部運動会の朝が思い出され、祈るような気持ちで空を見上げました。来賓室にお越しの皆様からも御心配いただき、「子どもたちの願いが叶うとよいですね」と励ましの言葉をいただきながら開始までの時間を過ごしました。

しかし、いよいよ始めるというタイミングになったら、JSKL運動会にかかわる皆さんの願いが天に通じたのでしょうか。いつしか雨は止み、代わりにどこからか柔らかく、涼しい風が吹きつけ、絶好の運動会日和となりました。そして、在マレーシア日本国大使館 領事部長 濱本博樹様、クアラルンプール日本人会 副会長 万代利夫様、マレーシア日本人商工会議所 会頭 外処敏彦様、学校運営理事会 理事長 松下昌浩様をはじめ、多くのご来賓、保護者の皆様の見守る中、運動会の幕が切って落とされました。

降り注ぐ強い陽射しの下、JSKL全校挙げて「魅せろ団結 輝け絆 ～嵐に立ち向かえ！希望の光～」という目標のもと、一人ひとりが競技に、演技に、応援に全力を尽くしました。

園児と保護者による「乱舞彩祭・バナナなの？」では、親子の絆を確かめ合う姿で溢れていました。踊る度に笑顔や汗が太陽光線できらきらと輝く様子は目映く、会場全体を柔らかな空気で覆っていました。



徒競走や全員リレーなどの「走る」競技では、得意な子もそうでない子も全力で駆け抜ける姿が素敵でした。抜きつ抜かれつのレースに場内も一喜一憂し、靴が脱げても全力疾走する子どもらに惜しみない声援と拍手が送られました。一つのこと集中して全力で取り組む様子に「嵐に立ち向かう勇敢さ」を感じとることもできました。



そして、圧巻だったのが「集団の美」を追求した小学部高学年、中学部女子、中学部男子の団体演技でした。

始業式からわずか1ヶ月しかなかった準備期間です。この短い期間で創らねばならなかった「友だちや先生との信頼関係」。幼稚部や低学年の子どもたちの憧れに応えたいと願った「お兄さん、お姉さんとしての心と技」。この難題に取り組み、そして成し遂げた姿を、全身に緊張をみなぎらせ挑む「本気」と、辛くとも苦しくとも耐え抜く「根性」で、皆と呼吸を整え「一心同体」の演技で表現し、会場全体を感動の渦に巻き込みました。

全種目における全ての瞬間において、自らの可能性を信じ、自らの限界に挑み続けた子どもたち。その子どもたちから放たれた光は、日本の確かな未来を照らし出す「希望の光」でもありました。





子どもたちへ。

「純粋に、直向きに挑み続けることに真価があり、そこでこそ生きる力が真に育まれる。」

経験を積むと見失いがちになる大切なものに気づかせてくれた皆さん。本当にありがとう。

6月行事予定						
日	曜		全体行事	小学部	中学部	幼稚部
6/1	木					
6/2	金				生徒総会	
6/3	土	休				
6/4	日	休	英検第1回1次			
6/5	月		視力検査		土浦日大高校説明会	
6/6	火		視力検査	小学部朝会	啓明学院高校職員来校	
6/7	水		視力検査		専門委員会	
6/8	木		視力検査	3年竹とんぼ教室① にここ活動		
6/9	金		視力検査	3年竹とんぼ教室②		
6/10	土	休				
6/11	日	休				
6/12	月	休	ヌズルコーラン			
6/13	火		カンポン文化交流会①	児童朝会		
6/14	水		カンポン説明会		中3修学旅行	
6/15	木		ロボット講座(12hS1,34hP5)	小1&6年KLCC遠足	中3修学旅行	
6/16	金		ロボット講座(12hP4,34hP6)		中3修学旅行	
6/17	土	休				
6/18	日	休				
6/19	月		個人面談①			
6/20	火		個人面談②	体育朝会		
6/21	水		個人面談③			
6/22	木		個人面談④			ハリラヤプアサ集会
6/23	金		個人面談⑤			
6/24	土	休				
6/25	日	休	ハリラヤプアサ			
6/26	月	休	ハリラヤプアサ			
6/27	火	休	振替休日			
6/28	水		月曜日課			
6/29	木			委員会	中期末考査	幼稚部集会
6/30	金				中期末考査	